

ウイズコロナ時代の 災害ボランティア



瞬く間に世界中に流行した新型コロナウイルス感染症は、私たち一人ひとりの健康や社会・経済活動など日常生活に深刻な影響を与え、既存の社会システムを危機的な状況に追いやる世界的規模の「災害」だと言えます。

また、令和2年7月3日から九州各地や長野県、岐阜県はじめ国内各地で記録的な大雨が降り、大規模な河川の氾濫や土砂災害、浸水被害が各所で発生しています。

そういった複合災害の状況下、被災地の災害ボランティアセンターの運営にも大きな影響が及んでいます。

被災して、生活のすべてを失ってしまった方々には、支え合いの力が必要です。これまでの災害では、一日も早い生活再建のため、全国各地から災害ボランティアが集まり、復旧・復興に協力していました。災害ボランティア活動は、個人の自由な意思に基づいた活動であることが原則です。しかし、新型コロナウイルス感染拡大が懸念されている現在の状況の中、災害ボランティア活動を進め

ることで、感染を広めてしまう恐れがあり、今回の被災地域は、人口に占める高齢者の割合も高く、感染の広がりが被災地の住民の命を脅かす事態を生むかもしれません。被災地では、新型コロナウイルス感染拡大リスクを回避するため、被災県内のボランティアグループ・NPO団体等による復旧・復興の支援活動が行われています。

こうした経験から京都市でも、普段から「気づき・つながり・支え合える」住民同士の支え合いの力が必要です。

被災地へ出向かなくても できるボランティア活動

赤い羽根共同募金では、被災者を支援する活動を支える支援金・被災された方々のための義援金など様々な形で災害・被災地支援活動を実施しています。



京都市災害ボランティアセンター

(運営:京都市、きょうとNPOセンター、京都市社会福祉協議会)

〒600-8127 京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅塀町83-1 ひと・まち交流館 京都内

TEL:075-354-8728

FAX:075-354-8727

E-mail: office@ksvc.jp

社会福祉法人 京都市社会福祉協議会

令和2年度版 10月発行

〒600-8127 京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅塀町83-1 ひと・まち交流館 京都内

TEL.(075)354-8731 FAX.(075)354-8736

<https://www.syakyo-kyoto.net/> E-mail: sisyakyo@hitomachi-kyoto.jp



社協の活動を映像でご覧いただけます

京都市社協

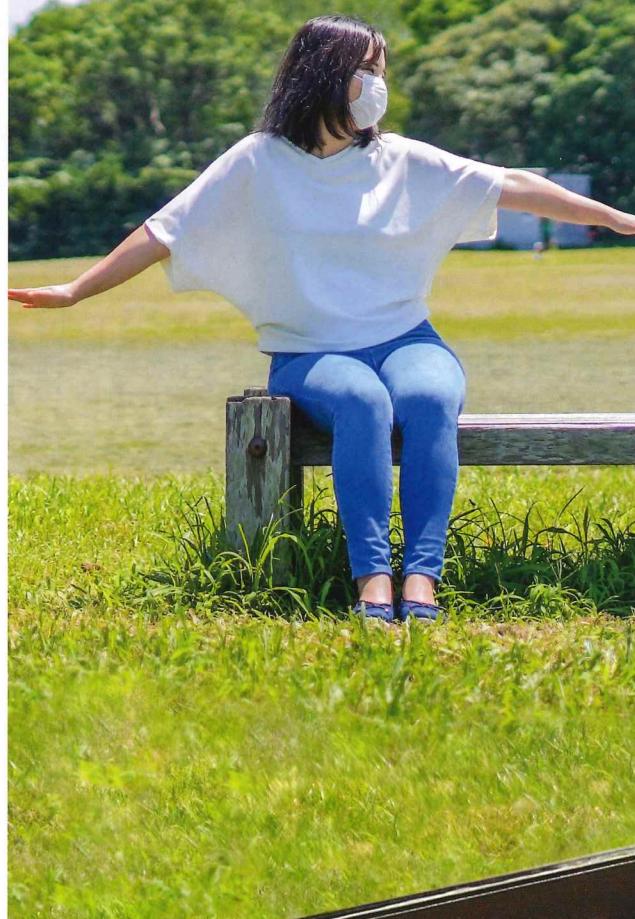
検索

この広報紙は、一部共同募金の配分金で発行しています。

SYAKYO-KYOU

京都市の社会福祉協議会

新しい生活様式で
もつとつながる絆



menu.1

新しい生活様式のもとでの
それぞれの地域活動

menu.2

災害に備えた、地域のつながり



2020年度版

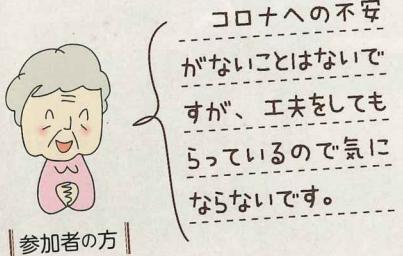
西京区 社協通信

うちにはこうしてみました!! コロナ禍での活動

嵐山東 学区

ソーシャルディスタンスを 保ち筋トレ再開

嵐山東社協では、筋トレ教室(健康すこやか学級)の会場をソーシャルディスタンスが守れる小学校の体育館に移し、ストレッチや筋トレ、整理体操等充実した内容で行っています。また、扇風機も活用して十分な換気も行っています。



コロナへの不安
がないことはないで
すが、工夫をして
らっているので気に
ならないです。



▲ボールを使って人と人との間隔を
十分に



嵐山東社協の役員、
ボランティアの皆さん

コロナの影響で地域の気になる方への見守り
もできていないことから、見守りの機会が必要だ
と思い、活動を再開しました。

密にならないように換気をしっかりするのと、
消毒、マスクの着用を徹底しています。皆さん
安心して参加できるように、やれるだけの対応を
行っています。終了後もしっかりと消毒しています。

西京・介護者の会 「虹の会」

集まれなくとも オンラインでつながる

西京・介護者の会「虹の会」ではSNS(LINE)を活用したつながりづくりとして新たな取組みが始まっています。



西京・介護者の会
「虹の会」
大八木代表

LINEを使うと会って話すのとはまた
違ったつながり、嬉しさを感じました。

コロナ禍でもできることをグループ
LINEで相談して決め、会員の皆さんに電話
をして元気を確認しようと決めました。

会員さんの元気を確かめるつもりが、逆
に元気をもらったりと、会えなくてもつな
がることの大さを感じました。

虹の会役員の グループLINE画面 ▶

コロナで気が減入っ
ていましたので、久しぶ
りにお声が聞けて嬉し
かったです。

参加者の方

虹の会役員グループLINE (8)

役員A
会員のCさん(介護者)に電話をしました。
ご主人が骨折して入院しているそう
で、ご本人も入院したりと留守がち
だったそうです。お元気だそうで、久
しづりに30分位お話をできてスッキ
リしたとおっしゃっていました。
こういう機会を与えてもらって良
かったとおっしゃっていました。

役員B
Aさんお疲れ様です。
ニュースに皆さまの声、お宅訪問等載
せられたらしいですね。今はコロナで気が減入っ
てしまっていますから、電話でお話良いですね。

桂坂 学区

熱中症を防ぐために マスクを外せる工夫を

桂坂学区社協では「来られる方に安心して参加してもらえるように」という想いから、入口での検温や手指消毒、マスク着用のお願い、会食も持ち帰り用のお菓子にする等できる範囲での感染症対策を行い、健康すこやか学級を実施しています。また熱中症を防ぐため、屋外で人との距離がとれる場所に「マスクを外して休憩ができる場所」を設ける工夫もしています。



少しでも体を動かし
たいと思い、参加しまし
た。家にいてもすること
がなく、参加を楽しみ
していました。



桂坂学区社協
星野会長

広い会場で換気を徹底し、向かい合わせに
ならないよう、席配置も工夫しました。開始
前・終了後は椅子や机、備品の消毒をし、ボ
ランティアもなるべく共有のものは使用を
避けるようにしています。



△お土産のお菓子は個包装に

これからの 地域活動 ガイドブック



△西京区社協HPから
ダウンロードできます

区社協から…

新型コロナウイルス感染症の影響がある中、工夫すればできることがあるとい
うことを知りたいと思い、地域での活動を紹介いたしました。

完璧な対策はないと思いますが、それぞれの地域、場所でできることを考え、
工夫して取り組んでいただければと思います。

また、地域包括支援センター、介護予防推進センター、西京区地域福祉推進委
員会、地域支え合い活動創出コーディネーターとの協同により、これからの地域
活動で気をつけるポイントをまとめた冊子を作成しました。ぜひご活用ください。

新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては活動を中止している場合も
あります。学区ごとに取組は様々ですので、詳しくは西京区社協までお問い合わせ
下さい。



問合せ

社会福祉法人 京都市西京区社会福祉協議会

〒615-8156 京都市西京区桜原百ヶ池31番地の18 西京ふれあい地域福祉センター内

TEL. (075) 394-5711

FAX. (075) 394-5712

<http://www.kn-cosw.jp>

西京区社協についてもっと知りたい方は

西京区社協 検索



※紹介した地域活動は、活動参加前の検温、手指消毒、マスク着用のお願い、ソーシャルディスタンスの確保、
会場の換気、参加者の取りまとめを行なう実施されています